

書道の歌集

あ  
や  
う

長谷川翠渕 歌集

早  
蕨

平成二十四年

声  
明

二十五年

真  
砂

二十六年

水  
雨

二十七年

軒  
忍

二十八年

ピ  
アノ

二十九年

年暮れてゆく

三十年

外  
苑

令和元年

長  
峰の筆

二年

朝  
の厨

三年

## 合作書画作品

### 篠葉書画作品

#### 長谷川篠葉 歌集

泉

平成十七・十八・十九年

送り火

二十六・二十七年

母校のチャイム

二十八年

虹

二十九年

軸の裂

三十・三十一年

あかね雲

令和元年

世の幻影

二年

ヴァイオリンの音

三年

あとがき

—長谷川翠渕歌集—

早 蔿

平成二十四年

十二歳の少女と連弾するわれの稀にうけたる縁し畏し

はるばると集中講義に来られたる師にまみえたり奇縁尊し

書家の書と歌人の歌を好まざりし良寛様の思ひ酌みゐる

拾ひ来て共に明け暮るる亀五歳柵に囲みて庭に放たん

泉水に放たれし亀五日経て金魚にまじり餌を食ひはじむ

早蕨と名付けて集ふ四十年齢重ねし個々の墨色

## 声 明

二十五年

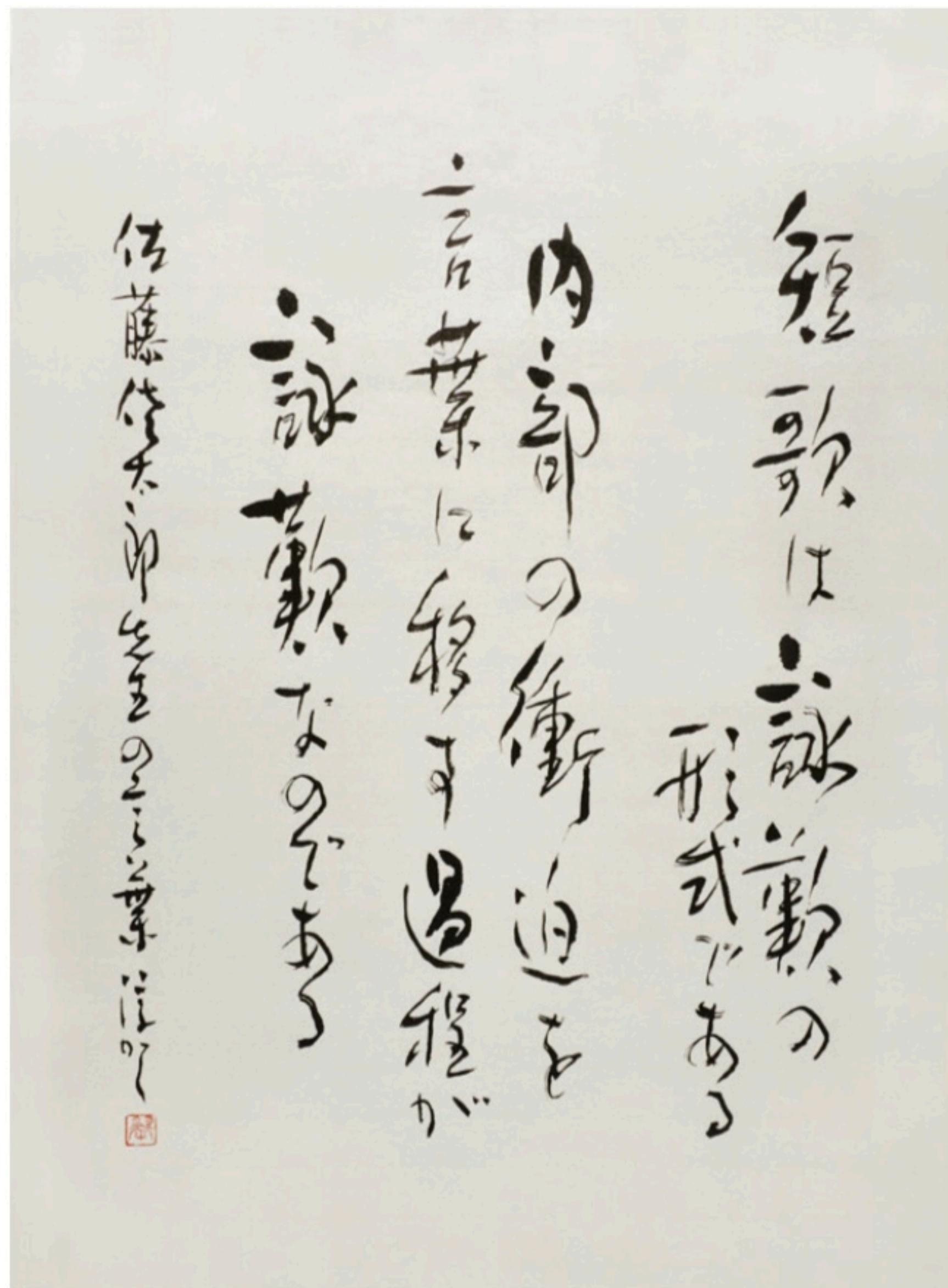
八十を越して賜はる歳月のあなかたじけ忝な慎み生きん

小正月の空澄みわたり加茂川の堤行く人歩みのどけし

庭池に放ちて冬眠させし亀啓蟄に出て甲羅干しゐる

深水の五十粁に満たざるに亀は寒さに耐へて生きぬく

寒冷のみ堂に灯明みつめつつ声明聞けば生も死もなし



短歌は詠嘆の形式である  
内部の衝迫を言葉に移す過程が詠嘆なのである

西陣の

路地に聞く

たゞ8小車(四つ)

逃げき、シリの

音車は

木暮翠雲

西陣の路地に聞きたる糸車回る幽けき音の幕はし

觀音音 南無佛 与佛有因 与佛

有緣 佛法僧緣 常潔我淨

朝念觀音音 真有念觀世音

念念從心起 念念不忘離心

延命十句觀音經 今和之年八月廿六

冬の詠

人あげてさる

萬福寺

松に立小鳴

拾ひしゆ



参詣の人まばらなる萬福寺松笠ふたつ拾ひて帰る

# 泊瀬川

白木綿花に  
せんじゆうはなに

落ちたぎつ

泊瀬川  
はつせがわ

瀬を  
せの

白木綿花に  
せんじゆうはなに  
瀬を清けみと

見に来し

われを

目にあし

山れを

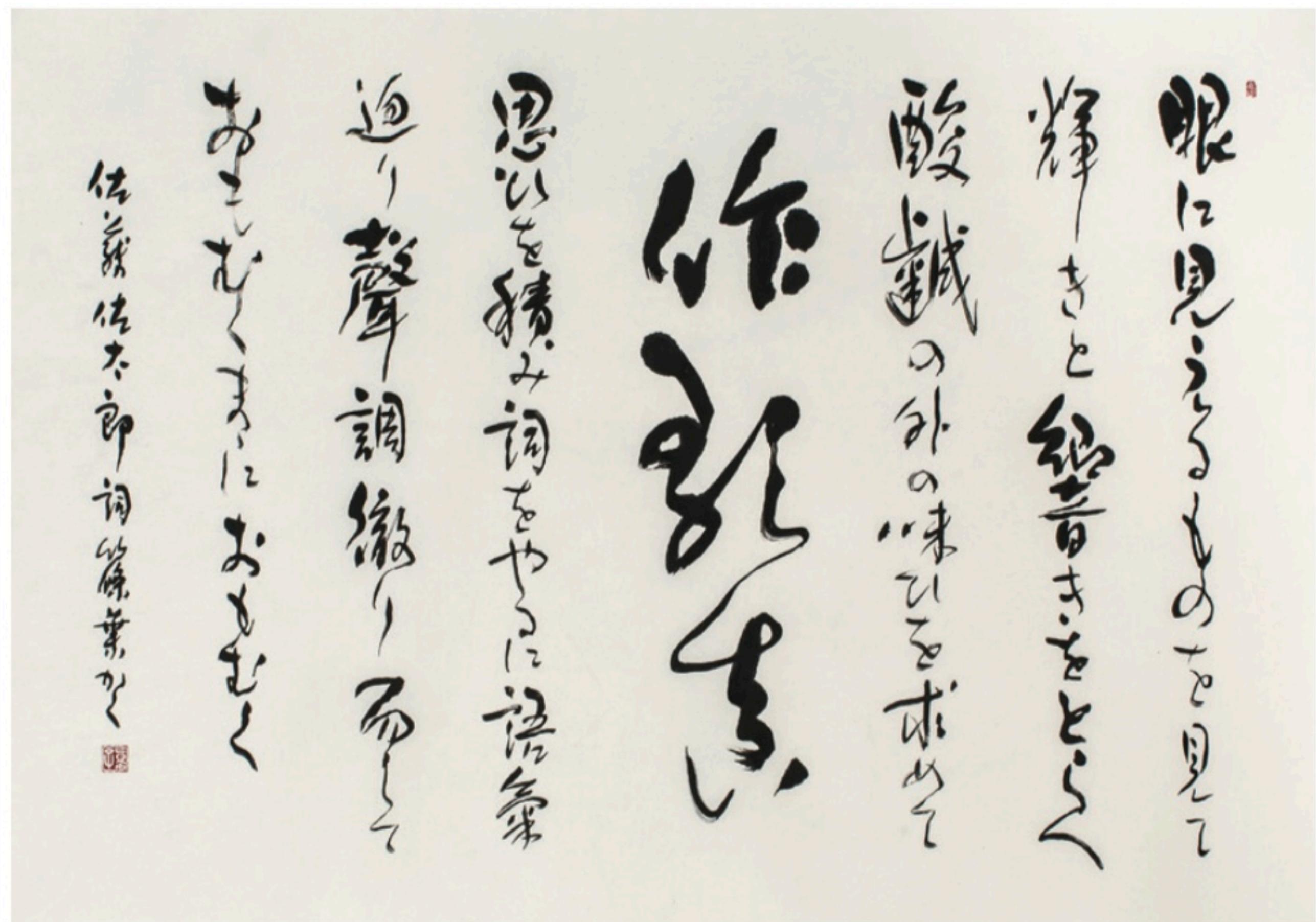
あらま車



桐の木にうずら鳴なる堀之内  
松尾芭蕉



スマートホン身近に鳴れる日々にして関りもてぬわれの晩年



眼に見えるものを見て  
輝きと響きをとらへ

酸鹹さんかんの外の味ひを求めて

# 作歌真

眼に見えるものを見て  
輝きと響きをとらへ

酸鹹さんかんの外の味ひを求めて

思ひを積み詞をやるに語氣  
迫り聲調徹り而して

おもむくままにおもむく

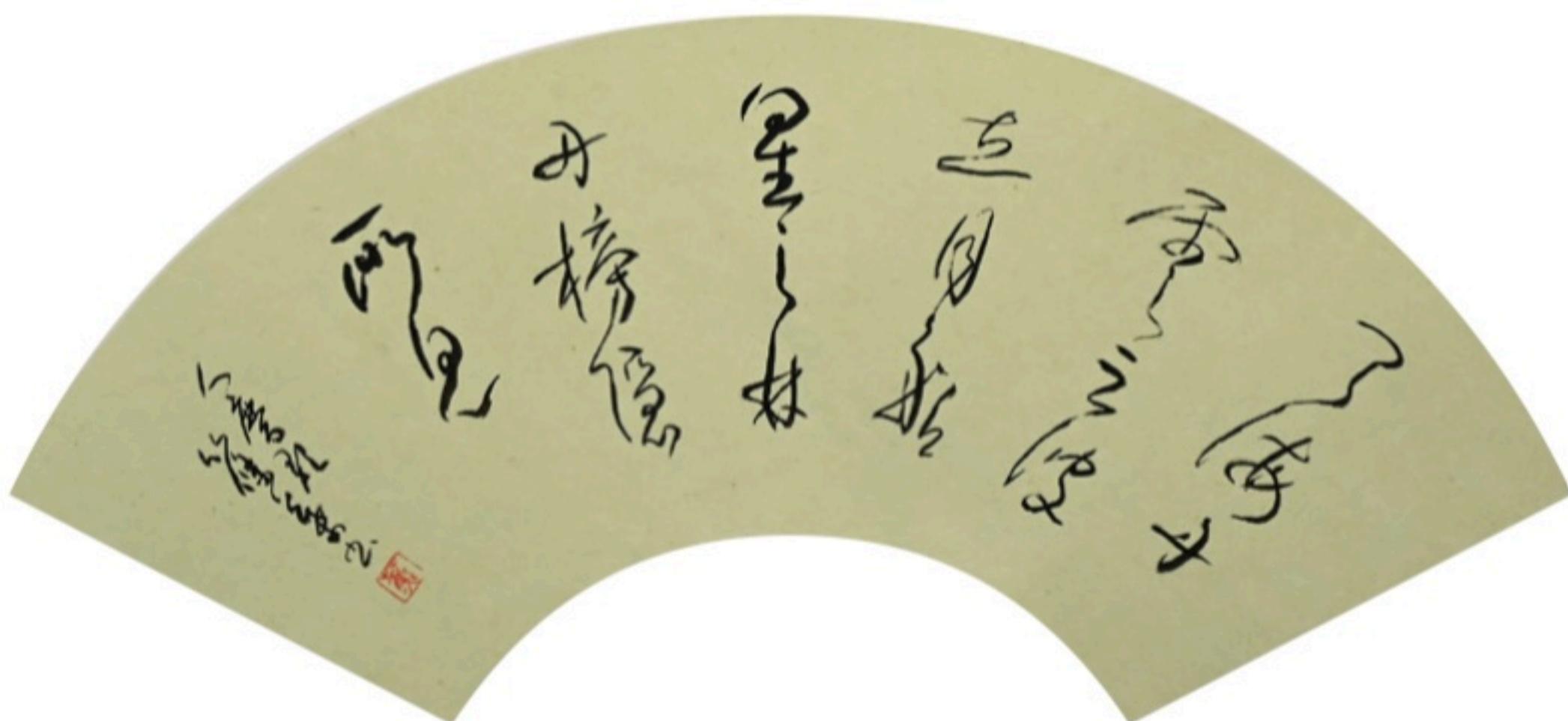
佐藤佐太郎詞

佐藤佐太郎詞 篠葉かく



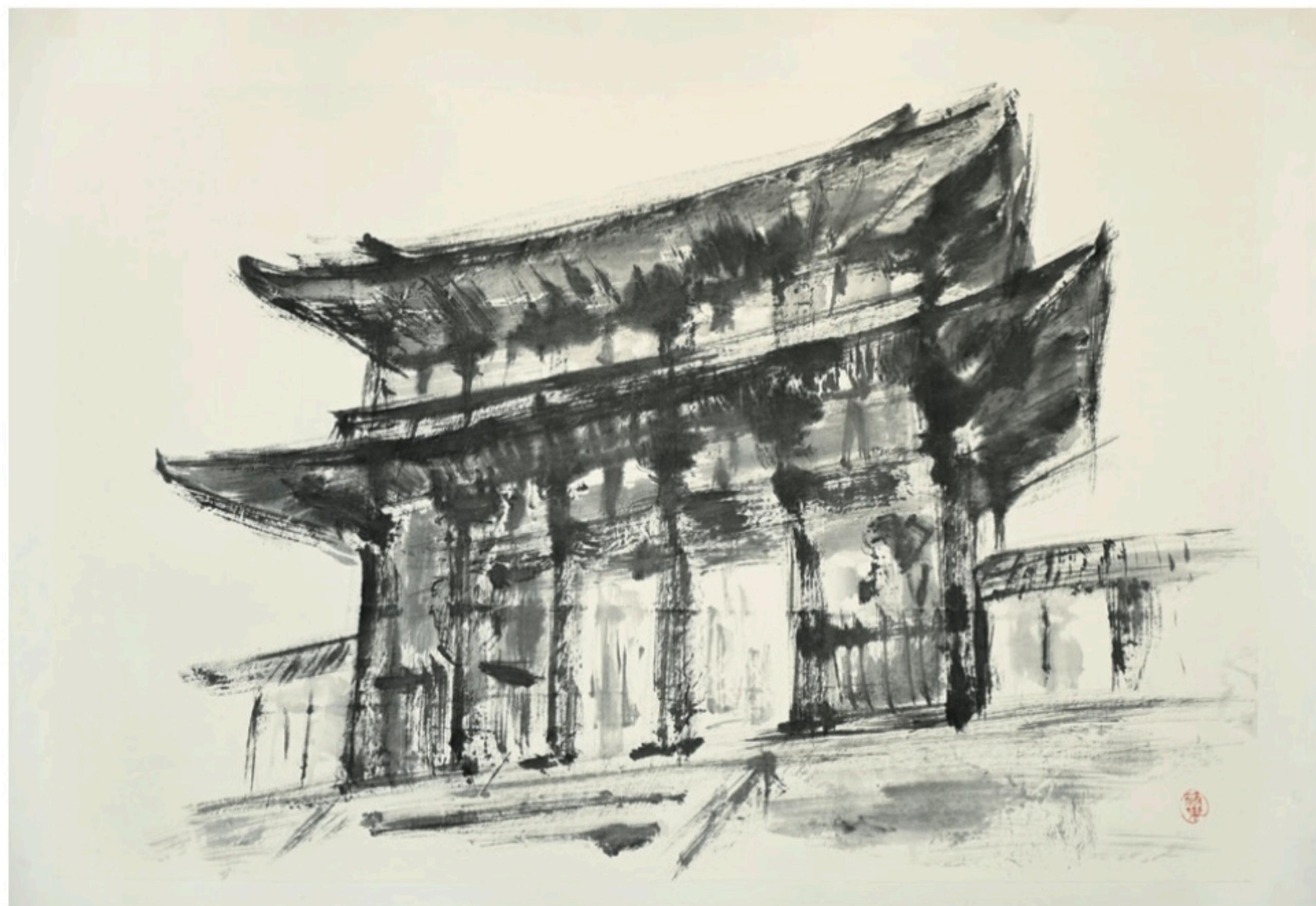
玉垂之小簾之間通獨居而見驗無暮月夜鴨  
(たまだれのをすのまとほしひとりゐてみるしるしなきゆふつくよかな)

萬葉集



天海丹雲之波立月船星之林丹榜隱所見  
(あめのうみくものなみたちつきのふねほしのはやしにこざかくるみゆ)

萬葉集



祈り

—長谷川篠葉歌集—

泉

平成十七年

風邪癒えてクラリネットを吹く時にいたく鈍りし感覺思ふ

バス停に待ちゐる人を写生して居れば次々バス運び去る

雨あとの大木蔭の大き水溜散歩の犬は軽く飛びこす

御水取りの源となる神宮寺暗き泉にわが手をひたす

## 送り火

二十六年

夕暮れの冷ゆる川面に群なして水鳥ここに夜をあかさんか

満開の桜に雀遊びゐて飛び上がるたび花びらのとぶ

一筋の線としなりてあてありや真白き大地をペンギンは行く

大沢の池にたちゐる小波に杳とほき日の愁ひよみがへりくる

冬眠の近づきたるかわが庭の亀の動きのにぶくなりくる

こほろぎの今朝鳴く声は近くにてもの言ふごとく心にとどく

プロフィール

長谷川翠淵（淳子）

1931	京都府に生まれる
1950	奈良女子大学附属高校卒業
1944～57	辻本史邑に師事
1953～2008	日本書芸院に所属
1955～71	日展入選10回 以後不出品
1959～81	村上三島に師事
1963～	京都書作家協会に入会
1968～73	短歌結社「炎樹」に所属
1972～	早蕨会結成
1980～	現創会に所属
1985～	短歌結社「歩道」に入会
1993・1999	東京・田中八重洲画廊にて「佐藤佐太郎の歌」個展・図録発行
2004	書歌集「たまほこ」発行
2012	書歌集「きぬかけ」発行

## 長谷川篠葉（真由子）

1961

京都市に生まれる

1979

京都府立嵯峨野高校卒業

1983

嵯峨美術短期大学陶芸科・専攻科卒業

1989

京表具藤田月霞堂に弟子入り

1995

独立 鈴迺舎（すずのや）を設立

1998

日本画家桑野むつ子氏に水墨画を習い始める

2005

歌人秋葉四郎氏に短歌の指導を受ける  
現在、短歌結社「歩道」に所属

2013

幼少より翠淵に書を習う。現在、現創会に所属  
辛酉会に参加 以後毎年展覧会に出品